

国語科学習指導案

<単元名(学習の場)>

学習したことを生かして

<教材名>

「モチモチの木」

重点化した指導事項

「A 話すこと・聞くこと」

<話すこと>

ア 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手の目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

「B 書くこと」

<相手意識・目的意識、

自分の考え>

ア 相手や目的に応じて、適切に書くこと。

「C 読むこと」

<抽象的な読み>

ウ 場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むこと。

<事象と感想

意見にかかわる読み>

エ 読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いがあることに気づくこと。

<声に出しての読み>

カ 書かれている内容の中心や場面の様子がよくわかるように声に出して読むこと。

重点化した成長課題

自分らしさ

自分の好きなことや得意なことに興味・関心をもち、伸ばそうとする。

情報活用

課題や問題解決のために情報の収集・選択・伝達をしようとする。

自分らしさの発揮

自分の好きなことを見つけ、夢中になったり伸ばしたりしようとする。

自然や美しいものへの感動

感じたことを自分のやり方で表現しようとする。

4. 単元(学習の場)目標

【生き方の基礎・基本から】

- ・自分でも内容がよく分かるとともに、相手にもよく分かるように表現する。
- ・いろいろな読み物に興味を持ち、読書の範囲を広げる。

【学び方の基礎・基本から】

- ・相手意識や目的意識を持ちながら、内容の中心や場面の様子がよく分かるように伝える。

【知識・技能の基礎・基本から】

- ・場面の移り変わりや情景の叙述をもとに想像しながら読む。

・伝えたいことが分かるように、工夫して書く。

5. 単元(学習の場)の評価基準

国語への関心・意欲・態度	(ア)自分で読みのめあてや学習課題を決め、学習方法を工夫して、活動に取り組もうとしている。
話す聞く能力	(イ)伝えたいことを選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話す。
書く能力	(ウ)伝えたいことを段落相互の関係など工夫しながら相手や目的に応じて適切に書く
読む能力	(エ)場面の移り変わりや情景を叙述をもとに想像しながら読み、自分の考えをまとめることで、一人一人の感じ方について違いがあることに気づく。

5. 指導計画(20時間扱い)本時14 / 20時間目

	学習活動と内容	支援(・)と評価()
1	<p>一年間の学習を振り返り、今回の学習の大まかな見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習したことを生かして」で一年間の国語の学習を振り返る。 ・学習のねらいを確認する。 ・「モチモチの木」を読み、感想や疑問などを話し合う。 ・「モチモチの木」でどのような学習をしたいか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの国語の学習を振り返らせるとともに、ほかにも様々な学習活動があることを知らせる。 ・これまでの学習したことを生かして、積極的に取り組もうとしている。(ア) ・範読をし、観点を与えて、初発の感想を書かせる。 ・目的意識を持って学習に取り組もうとしている。(ア)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「モチモチの木」を読み進め、学習課題を決める。 ・「おくびょう豆太」の場面を読み取る。 ・「やい、木い」の場面を読み取る。 ・「霜月二十日のばん」の場面を読み取る。 ・「豆太は見た」の場面の前半を読み取る。 ・「豆太は見た」の場面の後半を読み取る。 ・「弱虫でも、やさしけりゃ」の場面を読み取る。 ・学習発表会で発表する課題を決め、学習の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会をするという目的意識をもたせながら学習を進めるように促していく。 ・叙述をもとに、人物像を考えている。(エ) ・叙述をもとに、登場人物の関係を読み取っている。(エ) ・山の神様の祭りに対する登場人物の気持ちを読み取っている。(エ) ・「医者さま」を呼びに走る豆太の様子と気持ちを読み取っている。(エ) ・叙述をもとに場面のイメージを考えている。(エ) ・じさまの言葉を中心に物語全体の感じを考えている。(エ) ・第1次の時のことを思い出させ、変更してもいいので、学習計画を立てさせる。 ・自分が一番感動した場面を確認させる。 ・これまでの学習したことを生かして、積極的に取り組もうとしている。(ア)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会に向けて学習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰を招待するかという目的意識を持たせて、学習させる。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学習計画に沿って学習を進める。 ・中間発表会を開き、助言し合う1 ・中間発表会を開き、助言し合う2 ・次時からの計画を立てる。(本時) ・学習発表会に向けて、仕上げの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい事柄を考えて、適切な言葉遣いで話して る。(イ) 伝えたい事柄を考えて、適切な言葉遣いで書いて いる。(イ) ・友達にもらいたい助言を前もって考えさせる。 伝えたい事柄を考えて、適切な言葉遣いで発表し ている。(イ) 助言を生かして、進んで学習に取り組もうとしてい る。(ア)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会を開く。 ・学習発表会を開き、感想を聞く。 ・学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見る側、聞く側の児童にも事前にねらいやポイントを 知らせておく。 進んで発表会に参加している。(ア) 伝えたい事柄を考えて、適切な言葉遣いで書いて いる。(ウ)

6. 本時目標

- ・友達の発表を聞いて、よりよい発表になるように、進んで助言できる。

9. 本時展開

活動と内容	支援(・)と評価()
1. 前時を振り返る。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">友達の発表を聞いて、よりよい発表になるようアドバイスしてあげよう</div>	
<p>2. それぞれの取り組みの成果を発表し、助言し合う。</p> <p>(発表側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の方法。 ・伝えたかったこと。 ・伝わりやすいように工夫したこと。 ・うまくなったこと。 <p>などを発表し、その後、実際に発表する。</p> <p>(助言側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表と比べる。 ・感動したことが伝わっている。 ・よくなっていることを加える。 <p>などを考え、助言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にどのようなことを助言してほしいか考えさせ、発表させる。 ・作品を作った児童は、それまでの制作過程などを発表させ、のちに作品を見学させる。 <p>進んで中間発表会に参加している。(ア)</p> <p>伝えたい事柄を考えて発表原稿を書いている。(ウ)</p> <p>自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話している。(イ)</p>
3. 中間発表会を受けて、練習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・助言から分かった改善点をどのようにして <p>友達の意見を取り入れながら、進んで計画を立てている。(ア)</p>

いったらいいのか、といったこと考えて、
練習計画を立てる。

4. 次時の学習について確認する。